

# I. 女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業について

## 1 事業趣旨

近年の医学・医療を取り巻く環境は大きく変容している。人口構造の変化や疾病構造の変化に対応するため、医学・医療に関する知識の吸収や技術の蓄積、疾病の治療だけでなく、倫理的な面にも十分に配慮する必要がある。また、わが国の労働者人口減少の将来予測を踏まえ、女性を始めとする多様な人材が就労を継続できる環境を構築するための「働き方改革」が進行している。医師自身の高齢化によるリタイヤが、医療の充実に影響を与えていることも理解しなければならない。

一般社団法人全国医学部長病院長会議（以下「AJMC」という。）に設置されている男女共同参画推進委員会では女性医師に焦点を絞り、委員会の立場から検討を行ってきた。その結果、全医師数に占める女性医師の割合が21%弱であり、今後も増加傾向を示していることが浮かび上がってきた。

この点を踏まえ、女性医師が働きやすい労働環境の整備、すなわち、長時間労働の廃止、ワークシェア、ワークシフト、出産や子育て等により臨床現場から遠ざかっていた者への復職支援やパート勤務など、女性医師のキャリア形成や就業の維持といった支援方策の充実を図ること目的として、厚生労働省公募委託事業である「女性医師等キャリア支援モデル全国展開事業」に応募することとした。

この10数年間、女性医師のキャリア支援に対しては行政、各学会、各施設、各団体による様々な取り組みが既に行われて来た。AJMC・男女共同参画推進委員会は全国の医学部と大学附属病院を束ねる立場であることから、その立場と公共性を最大限に活かし、これまでの各取組みを総括、発展、実用化するために、以下の取組みを展開したい。

## 2 事業

### (1) 事業内容

- ・全国の大学、医療機関において実施されている女性医師等のキャリアと家庭が両立できるような取組みを収集・分析
- ・収集分析結果、既存の取組みに基づく各都道府県における意見交換の実施、効果的な支援策の確認
- ・収集分析結果、効果的な取組み策について取りまとめを行い、全国に向けて女性医師等が働きやすい労働環境の整備策（支援モデル）について発信し、支援方策の充実をめざす。

### (2) 事業計画

- ・女性医師等キャリア支援連絡会議の設置（AJMC内）
- ・女性医師等キャリア支援連絡会議全国会議（AJMC主催）
- ・女性医師等のキャリア支援策に関する実態調査の実施及び結果分析
- ・都道府県女性医師等キャリア支援連絡協議会の開催及び意見交換の実施
- ・報告書取りまとめ

男女共同参画推進委員会・女性医師等キャリア支援連絡会議 委員

委員長 相原道子（横浜市立大学）  
座長 唐澤久美子（東京女子医科大学）  
委員 山下啓子（北海道大学）  
山本明美（旭川医科大学）  
名越澄子（埼玉医科大学）  
中野弘一（東邦大学）  
大久保ゆかり（東京医科大学）  
片井みゆき（東京女子医科大学）  
前田佳子（昭和大学）  
萬知子（杏林大学）  
鈴木利哉（新潟大学）  
梅田朋子（滋賀医科大学）  
澁谷景子（大阪市立大学）  
加藤聖子（九州大学）

一般社団法人全国医学部長病院長会議事務局

事務局長 石橋秀昭  
事務職員 岩間優介